

休日・夜間救急センターはどこに？

**Q** 現在、市は「休日・夜間救急センター」の設置を検討しているとのこと聞いた。

市内には自治医科大学附属病院をはじめ、数々の医療機関があるが、「休日・夜間救急センター」は、既存の医療機関を拡充するのか、それとも市立病院を新たに設置するのか。

**A** 休日や夜間の1次救急センターについては、小山広域で運営しており、現在は、新小山市市民病院の中に「小山地区夜間休日急患センター」があります。

新小山市市民病院が現在より南に移転することに伴い、このセンターも移転しますので、広域でも特に下野市や上三川町の方々にとっては利用しづらくなってしまう。

そこで、広域医療圏全体の救急医療について検討するため、検討会を立ちあげました。

地域の自治体や医療機関とも連携をとりながら調整を進めているところですので、現段階では具体的な場所や開設時期の検討には至っておりません。

都市計画は見直されるの？

**Q** 都市計画の線引きがよくわからない。

駅前シャッター通りになっているところなど、各地区の利用価値を含めて検討していくのか。

**A** 下野市は全域が都市計画区域で、市街化区域と市街化調整区域に分かれています。市街化区域は住居地域や商業地域、工業地域などの用途地域に分かれています。これらは、旧町時代に各町の将来像を見据えて定めたもので、現在はこの用途地域を踏襲しています。

駅前のシャッター通りになっているところがあるとのことですが、確かに少子高齢化・市街地の空洞化などの問題もあります。今後市の中核部として、これまでと同様に近隣商業地域としての用途となるものと考えています。

また、平成27年度は、「都市計画マスタープラン」の中間の見直しの年度です。また、市の第2次総合計画の策定に入る年度でもあるため、総合計画と整合性を図り検討してまいります。

平和派遣団中学生による報告会は

**Q** 平和派遣団として広島市に派遣された中学生達は、どのように地域に発信してくれるのか。市民への報告はどのようになされるのか。

**A** 今年度初めて、市内4中学校から8名を広島へ派遣しました。

市民の皆さんへの直接的な報告会の子定はありませんが、各学校において、派遣生徒が報告会を行い、それを通して保護者あるいは地域の皆さんへ届くものと考えています。

この事業については、教育という点を勘案しながら、継続的に実施し、市民の皆さんへの周知・啓発を行ってまいります。

文化芸術施設の早期推進を

**Q** 市の文化会館の整備について、どのようなものにするか検討に入っていると聞いたが、マスタープランはどうなっているのか。

下野市は近隣の市町に行かないと文化会館がないので、寂しく思っている。

積極的に早期に推進してほしい。

**A** 文化芸術施設の整備については、現在、概略的な規模などを検討している段階で、どのような施設ができるかということをお示しできる段階ではありません。

今後は、経費やどのような使われ方をするのか、というところまで検討を図り、計画を進めてまいりたいと考えています。

エネルギー・資源活用を

**Q** 市のエネルギー・資源活用計画を作るべきではないか。

例えば、市内の全小中学校に太陽光発電装置を備え、学校で使う電気はそれで賅う、太陽光発電の電気を買うなど色々考えられる。防災対策としても重要ではないか。ぜひ進めてほしい。

**A** 再生可能エネルギーの活用は大変重要な施策ととらえています。

新庁舎建設においては、屋上に太陽光発電を備え、電力の一部に活用します。また、地中熱活用のため、地中に14本のパイプを埋めます。夏は冷たく、冬は温かい空気を空調の一部に活用し、負荷をかけない仕組みづくりを計画しています。